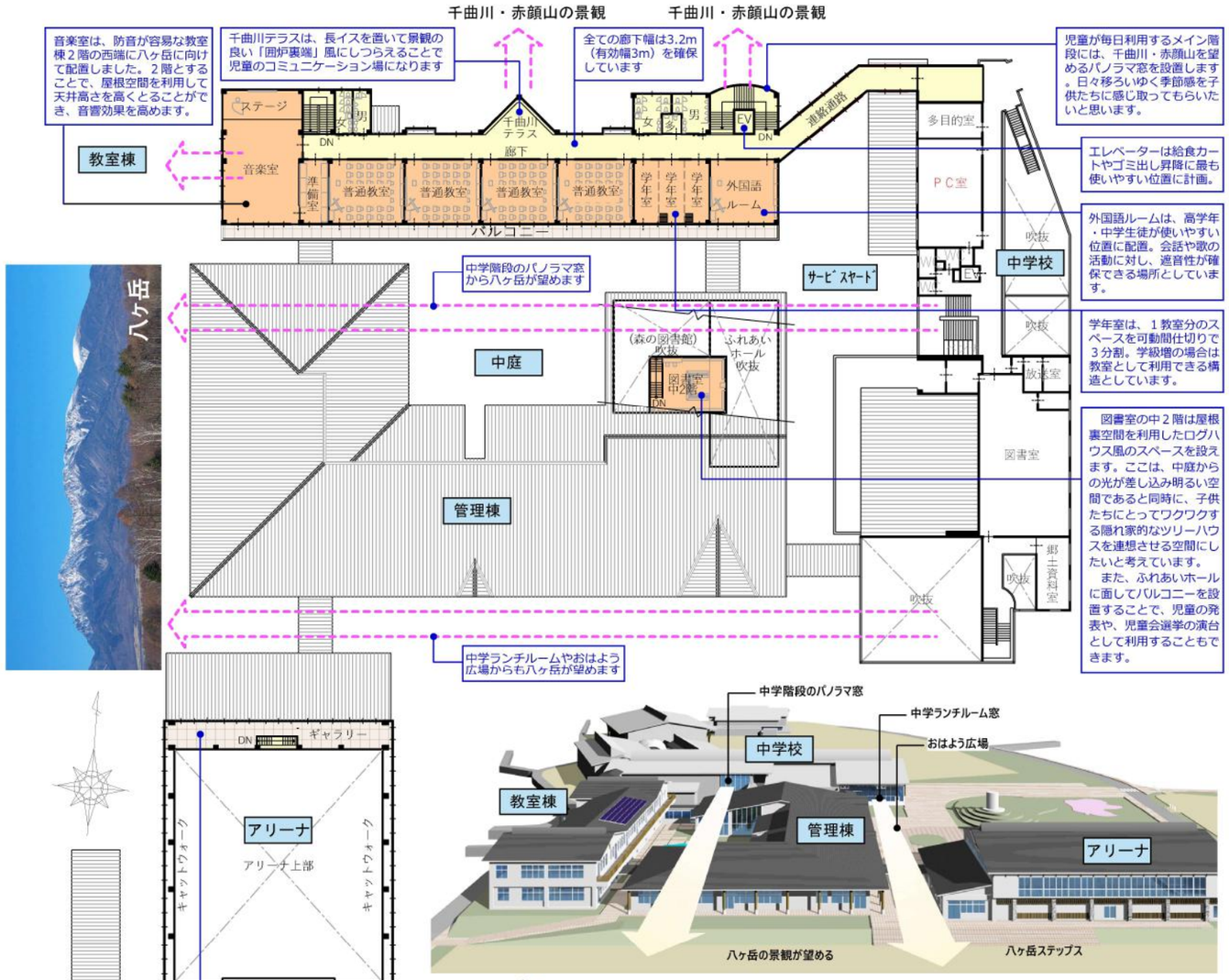
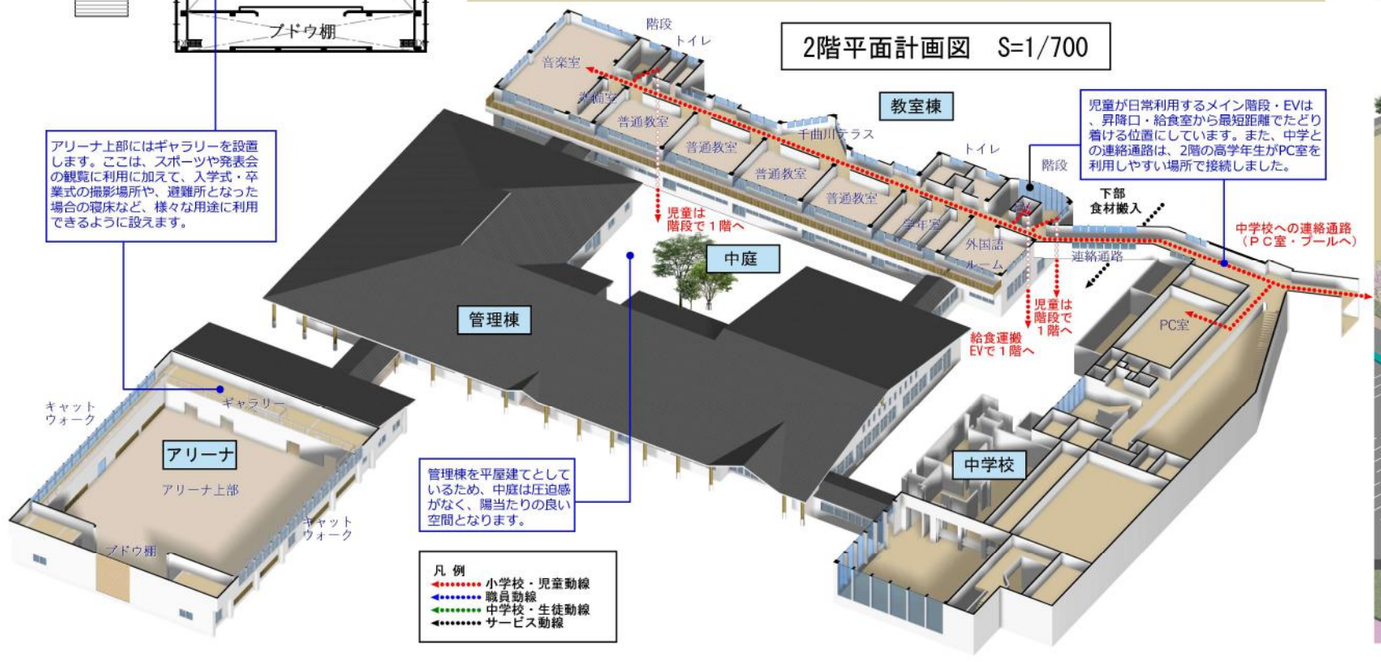




01 2階平面計画概要

教室配置には文科省の開放型教室の指導もありますが、冬季は平均気温が零下になる寒冷地のため、断熱暖房効果から考えて個別教室とします。

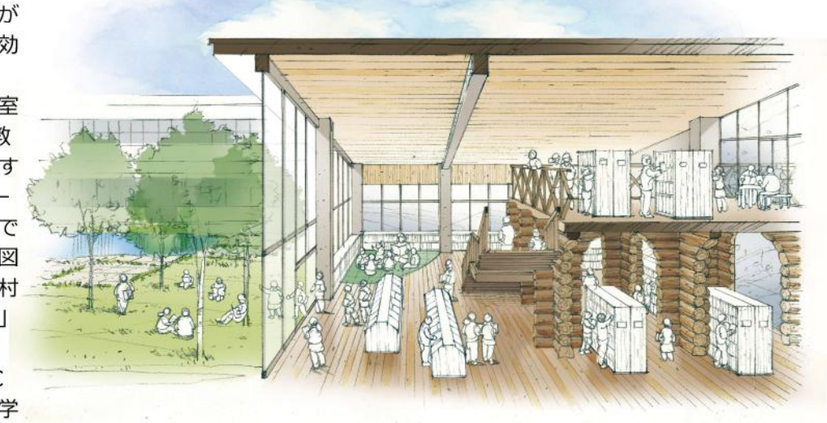
南の管理棟を平屋にして北側の教室棟を2階建てとすることによって、教室棟の南面の日当たりがよくなります。また階段室が2カ所、エレベーターが１機ですみ、効率的な空間利用ができます。各教室と「森の図書館」、図画工作室に囲まれた中庭には、川上村の地図の形をした池「かわかみの泉」を配置します。

北東の角の二階からは中学校のPC室、プールへの連絡通路を設け、中学校との交流を図ります。この通路は食材搬入車両などとは立体交差となります。教室棟北側廊下の中央に「千曲川テラス」を設け千曲川や男山・赤顔山などの山並みが望めます。

02 教室棟2階と中学校との連絡通路

教室棟2階は高学年の普通教室と中学校寄りの東側に外国語ルーム、西側に音楽室を配置しました。木造の校舎では2階の床音が1階に響きますが、今回はRC造で内部木質としましたので、吸音遮音性能に配慮した計画となります。また、音楽室は2階とすることで、屋根裏空間を利用して天井を高高くでき、音響効果を良好にします。

森の図書館と中庭のイメージ図



03 「かわかみの泉」と中庭に面した教室棟

各教室は日照、採光、通風などが良好な配置で、76㎡の面積を確保、一人一端末の置ける机が配置できるようにICT対応し、各教室に大型ディスプレーや端末充電コーナーも設置可能にします。低学年教室は1階に配置し、中庭の芝生を遊び場として使用できるように考えました。中庭は、森の図書館とも一体利用できます。天気の良い日は木陰で読書が出来ます。

1階東側には少人数学習室、児童会室を配置、西側には理科室を配置しました。１階西側と2階東側の学年室（更衣室などに利用）は移動間仕切を使用し、普通教室増の場合や少人数学習室として使用可能とします。

04 八ヶ岳と千曲川の眺望

今回の計画で郷土を愛する心を育むコンセプトが重要と考え、小学校管理棟を平屋とすることで中学校西棟の中央階段からの八ヶ岳眺望を確保しました。またランチルームからの八ヶ岳眺望も管理棟とアリーナの間から望めます。

教室棟2階の「千曲川テラス」からは千曲川と男山、赤顔山の山並みが望めます。長イスを置くことで児童のコミュニケーションの場となります。

また、校舎から校庭に降りる「八ヶ岳ステップス」からも八ヶ岳の眺望が望めます。

鳥瞰イメージ図

八ヶ岳や千曲川を望み、中庭に「かわかみの泉」を配置して郷土愛を育む教室計画（2階平面計画）